

ながさきピース  
文化祭2025  
応援事業

# 第70回記念

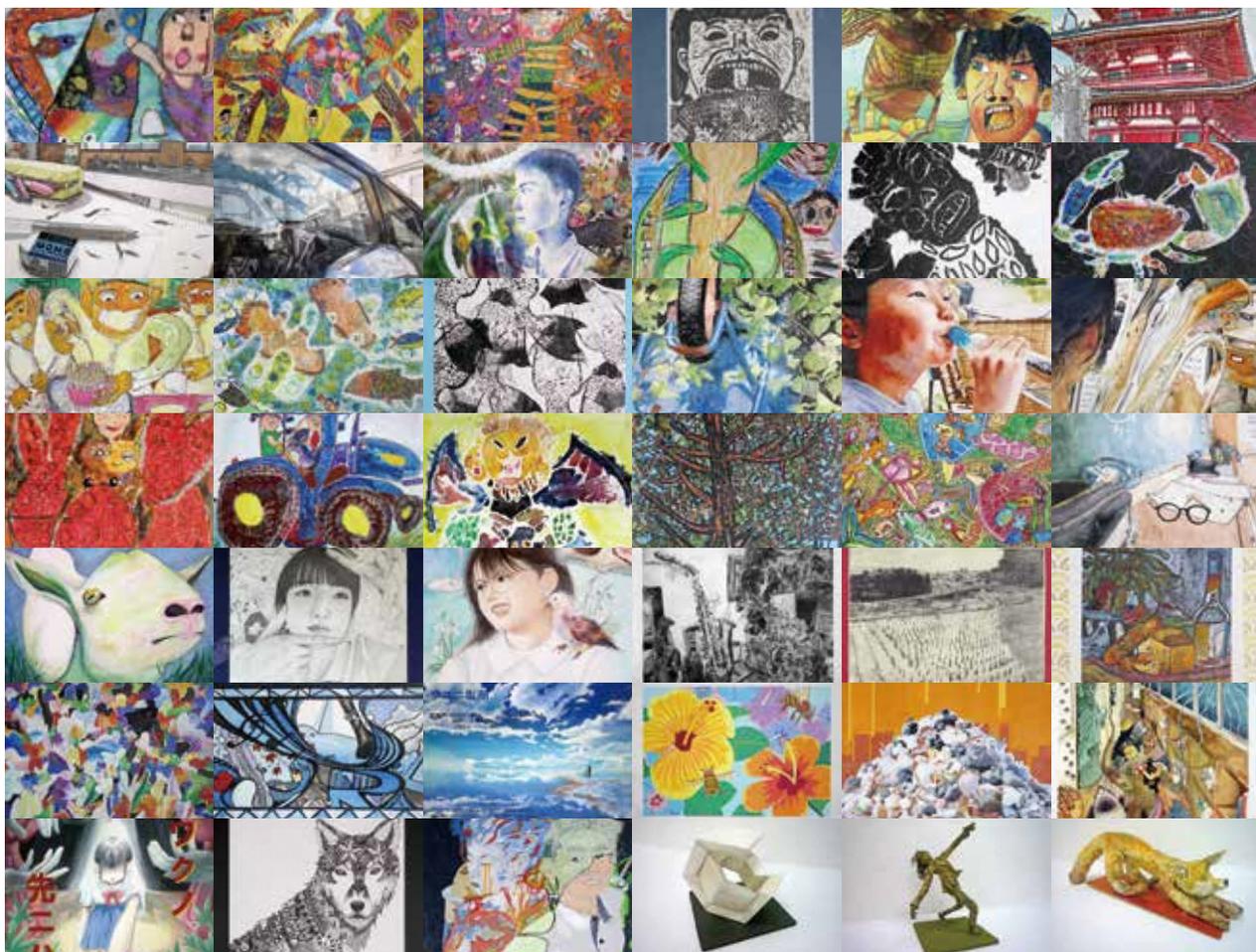
ながさきピース  
文化祭2025  
第40回国民文化祭・第25回全国障害者芸術・文化祭  
第7年 9月14日(土)→11月30日(日)



長崎県小・中学校児童生徒美術作品展

# 子ども県展

特別賞受賞作品集



長崎県教育委員会  
長崎県造形教育研究会

# 作品集発刊にあたって

## ～「思い」と「表現」を受け取り、創作の充実へ～

「子ども県展」は、県内の児童生徒の図画工作・美術に対する意欲・関心を高め、創造する喜びを味わい、豊かな情操の育成を図るため、県内の小中学生を対象に作品を募集する県内最大の伝統ある展覧会です。昭和31年に長崎県造形教育研究会が発足して以来、広く県民の皆さんに親しまれ、本年度70回という記念すべき節目の年を迎え、益々この「子ども県展」の児童生徒の成長における役割を感じずにはられません。

この作品集は、応募作品の中から、特別賞（知事賞、教育委員会賞、造形教育研究会賞）を受賞した42作品を掲載しています。一次審査・二次審査・特別賞審査を経て選出されたこれらの作品は、どれも素晴らしく魅力的です。

第70回記念「子ども県展」には、県内の小・中学校469校から87,183名が参加し、102,031点の応募がありました。どの作品も個性に満ち溢れ、様々な思いが込められた力作ばかりでした。限られた授業時間において、試行錯誤をくり返し、創造する楽しさを感じながら制作に打ち込む姿が目に見えました。

この作品集や作品展での鑑賞は、優れた作品を目にした児童生徒の皆さんが、作者の「思い」を巡らせ、その「表現」に共感・感動する中で、新たな創作活動への意欲の高まりや表現スキルの向上など、より一層充実した創作活動の一助となるでしょう。

令和7年度には、全国規模の文化の祭典である「第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭（ながさきピース文化祭2025）」が本県で開催されます。本県の未来を担う児童生徒の皆さんには、図画工作・美術はもとより、多様な文化芸術に触れることを通して、感性を磨き、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培ってほしいと願います。また、表現・創作活動に積極的に取り組み、本県の文化の継承と発展に大きな役割を果たしてくれることを期待します。

結びに、作品展の開催及び作品集の刊行にあたり、御尽力いただいた多くの皆様に心から感謝を申し上げますとともに、受賞された皆さんのさらなる活躍を祈念します。

令和7年1月  
長崎県教育委員会



大村市立西大村小学校  
1年 永田 采波



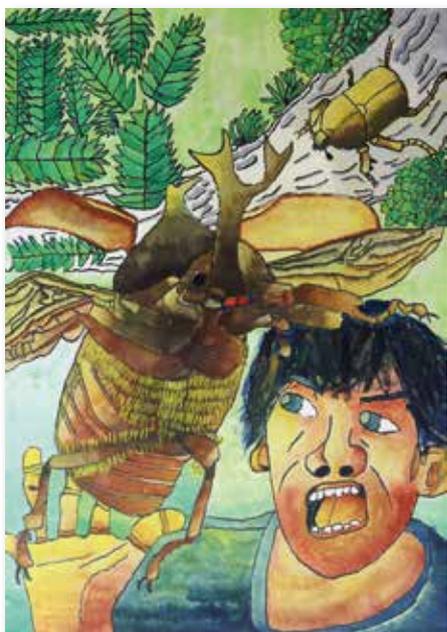
対馬市立金田小学校  
2年 野崎 蒼生



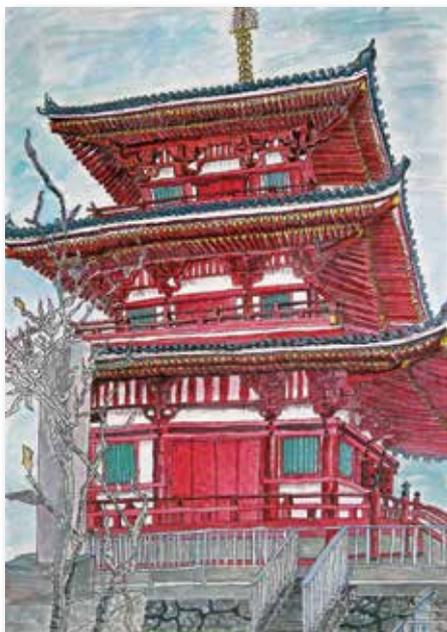
佐世保市立大塔小学校  
3年 横山 空



長崎市立戸町小学校  
4年 藤井 咲詠



平戸市立度島小学校  
5年 古川 佳吾



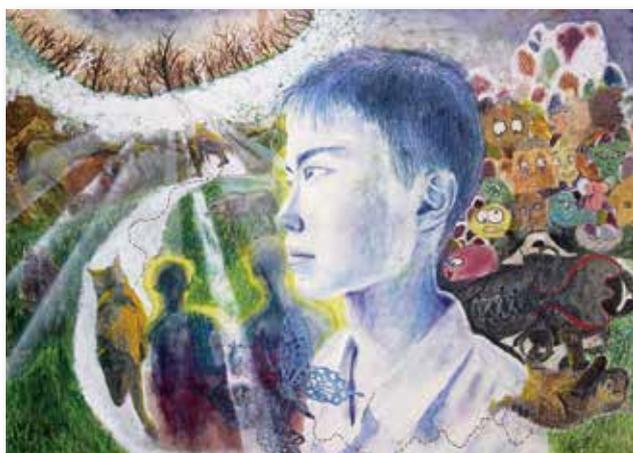
平戸市立田平東小学校  
6年 平岡 蒼太



長崎市立東長崎中学校  
1年 松尾 咲希



大村市立郡中学校  
2年 坂田 梨南



佐世保市立山澄中学校  
3年 吉田 優希



長崎市立西北小学校  
1年 重信 壮汰



長崎市立橘小学校  
2年 峯越 貴之



雲仙市立川床小学校  
3年 平山 統二



南島原市立小林小学校  
4年 本田 湧



佐世保市立大野小学校  
5年 市嶋 心陽



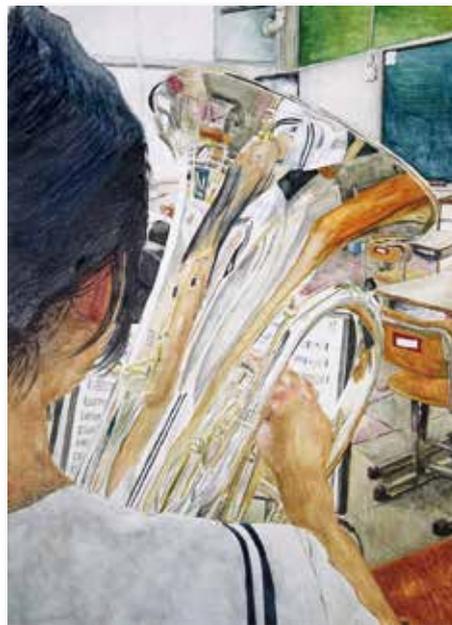
長崎市立諏訪小学校  
6年 井手 菜乃花



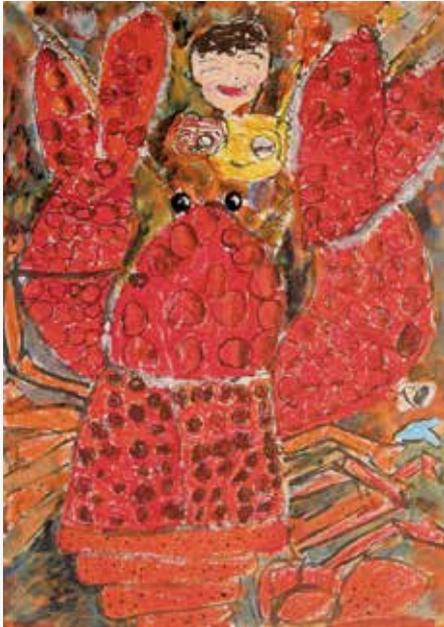
大村市立郡中学校  
1年 里 渚紗



大村市立郡中学校  
2年 前野 隼澄



大村市立郡中学校  
3年 田畑 美咲



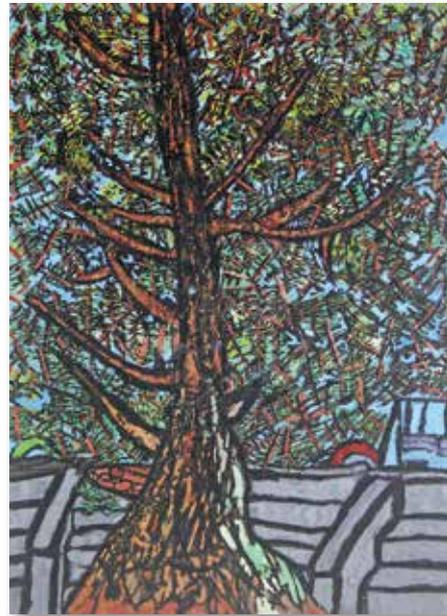
諫早市立喜々津東小学校  
1年 大井手 莉奈



五島市立奥浦小学校  
3年 竹森 寛輔



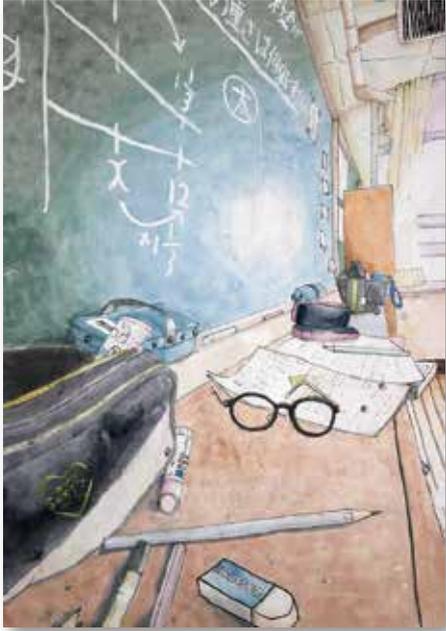
諫早市立小長井小学校  
2年 鶴田 凌久



雲仙市立八斗木小学校  
4年 本田 乃々葉



佐世保市立大野小学校  
5年 山中 梨生奈



長崎市立手熊小学校  
6年 尾上 瑠奈



島原市立有明中学校  
1年 宇土 陽望



佐世保市立早岐中学校  
2年 堀田 梨央



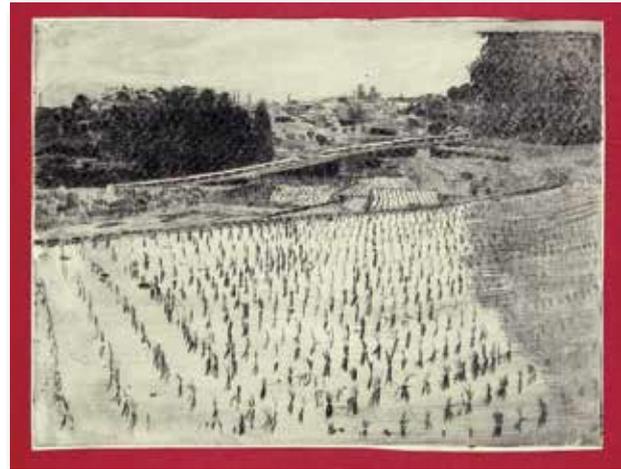
諫早市立諫早中学校  
3年 小川 ひなた

kodomo kenten 知事賞



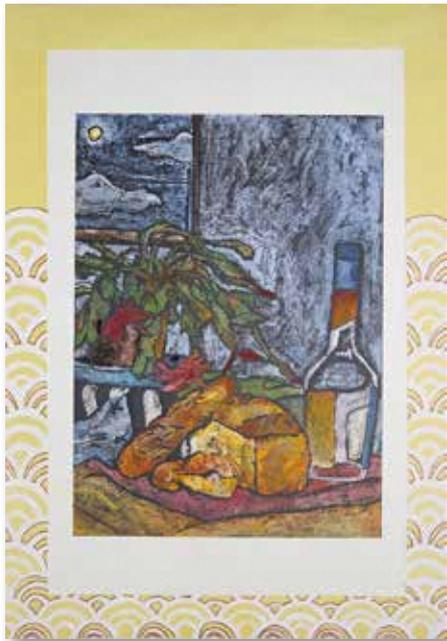
南島原市立布津中学校  
3年 門畑 華月

教育委員会賞 kodomo kenten



南島原市立有家中学校  
3年 永石 眞矢

kodomo kenten 造形教育研究会賞



佐世保市立清水中学校  
2年 田村 愛瑠



長崎市立三和中学校  
1年 梅木 光



佐世保市立大野中学校  
2年 徳永 セーラ



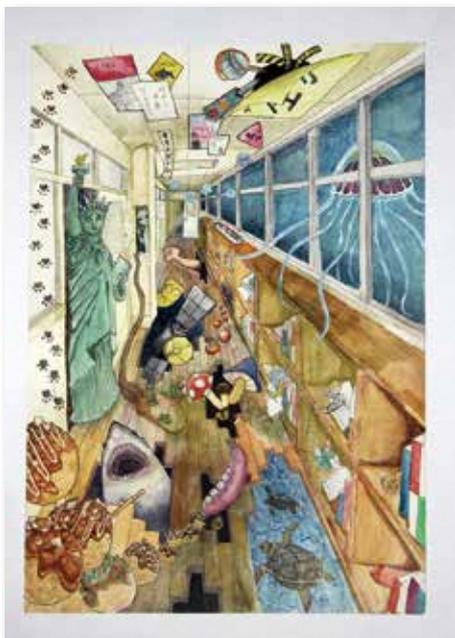
長与町立長与第二中学校  
3年 池永 成美



佐世保市立福石中学校  
1年 平田 友里



大村市立郡中学校  
2年 内海 早智



佐世保市立福石中学校  
3年 柿本 葉乃香



大村市立玖島中学校  
1年 山下 風佳

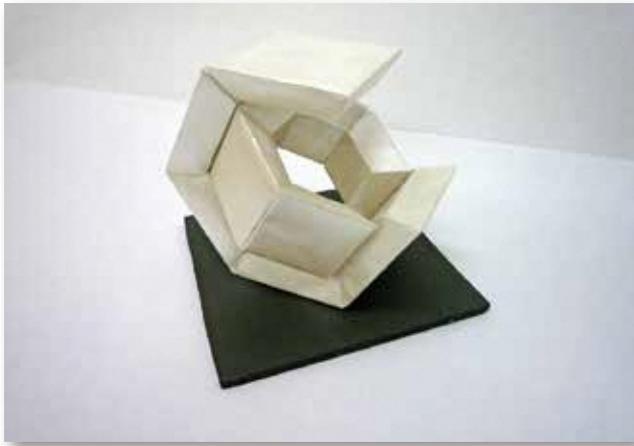


大村市立玖島中学校  
2年 西野 佑実



大村市立萱瀬中学校  
3年 小林 豊

kodomo kenten 知事賞



平戸市立平戸中学校  
3年 北村 彩葉

教育委員会賞 kodomo kenten



南島原市立南有馬中学校  
3年 小山 千優

kodomo kenten 造形教育研究会賞



長崎市立梅香崎中学校  
1年 松尾 瑞生

## 第70回記念 長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」

## 特別賞受賞者名簿 【知事賞】 14点

## 【絵画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
小学校	1年	大村市立西大村小学校 永田 采波
	2年	対馬市立金田小学校 野崎 蒼生
	3年	佐世保市立大塔小学校 横山 空
	4年	長崎市立戸町小学校 藤井 咲詠
	5年	平戸市立度島小学校 古川 佳吾
	6年	平戸市立田平東小学校 平岡 蒼太
中学校	1年	長崎市立東長崎中学校 松尾 咲希
	2年	大村市立郡中学校 坂田 梨南
	3年	佐世保市立山澄中学校 吉田 優希

## 【版画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	3年	南島原市立布津中学校 門畑 華月

## 【デザイン部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	1年	長崎市立三和中学校 梅木 光
	2年	佐世保市立大野中学校 徳永 セーラ
	3年	長与町立長与第二中学校 池永 成美

## 【立体部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	3年	平戸市立平戸中学校 北村 彩葉

## 特別賞受賞者名簿 【教育委員会賞】 14点

### 【絵画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
小学校	1 年	長崎市立西北小学校 重信 壮汰
	2 年	長崎市立橘小学校 峯越 貴之
	3 年	雲仙市立川床小学校 平山 統二
	4 年	南島原市立小林小学校 本田 湧
	5 年	佐世保市立大野小学校 市嶋 心陽
	6 年	長崎市立諏訪小学校 井手 菜乃花
中学校	1 年	大村市立郡中学校 里 渚紗
	2 年	大村市立郡中学校 前野 隼澄
	3 年	大村市立郡中学校 田畑 美咲

### 【版画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	3 年	南島原市立有家中学校 永石 眞矢

### 【デザイン部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	1 年	佐世保市立福石中学校 平田 友里
	2 年	大村市立郡中学校 内海 早智
	3 年	佐世保市立福石中学校 柿本 葉乃香

### 【立体部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	3 年	南島原市立南有馬中学校 小山 千優

## 特別賞受賞者名簿 【造形教育研究会賞】 14点

## 【絵画部門】

学 年	学 校 名	氏 名	
小学校	1年	諫早市立喜々津東小学校	大井手 莉奈
	2年	諫早市立小長井小学校	鶴田 凌久
	3年	五島市立奥浦小学校	竹森 寛輔
	4年	雲仙市立八斗木小学校	本田 乃々葉
	5年	佐世保市立大野小学校	山中 梨生奈
	6年	長崎市立手熊小学校	尾上 瑠奈
中学校	1年	島原市立有明中学校	宇土 陽望
	2年	佐世保市立早岐中学校	堀田 梨央
	3年	諫早市立諫早中学校	小川 ひなた

## 【版画部門】

学 年	学 校 名	氏 名	
中学校	2年	佐世保市立清水中学校	田村 愛瑠

## 【デザイン部門】

学 年	学 校 名	氏 名	
中学校	1年	大村市立玖島中学校	山下 風佳
	2年	大村市立玖島中学校	西野 佑実
	3年	大村市立萱瀬中学校	小林 豊

## 【立体部門】

学 年	学 校 名	氏 名	
中学校	1年	長崎市立梅香崎中学校	松尾 瑞生

## 審査員講評

## ≫ 絵画部門(小学校) 低学年

審査会場には、「その絵を描いた子ども」にしか発見できなかった驚きや出会いがあふれていました。子どもたちは誰と対話しているのか、何に熱いまなごしを注いでいるのか。1枚1枚の作品とじっくり向き合うと、四角い画用紙を窓口にして、声や音楽、香りや風までも感じられる程でした。感覚的な体験や豊かな感性から生み出される、子どもの大発見や感動には、家族と過ごす日常の自分、物語の世界を旅する自分が、主人公となって存在しています。

自分の思いを表現するためには、絵具やインク、表現技巧などのアイテムを、どのように選ぶかも重要な要素となります。今回の作品は、選んだアイテムが見事にマッチし、子どもの圧倒的な表現力を感じさせる作品ばかりでした。

長崎県県民生活環境部 主事 森 法子

## ≫ 絵画部門(小学校) 低学年

力強いクレヨンの線や、迷いながら何度も重ねられた色の表情からは、思いきり手や体を動かして描こうとした「表したいこと」を見取ることができました。クレヨンの線が絵の具をはじいているのに気付く、「もこもこした感じが出せそう…」と、見付けた「表し方」を自分の表現に取り入れる様子も想像できました。ふわふわ、によるによる、ごつごつ。やさしい感じ、たくましい感じ、ちょっとこわい感じ…。それらは、大人から与えられた知識というよりは、子供たちが自ら出会って獲得したものなのでしょう。自分の感覚や行為をもとに、作品と対話しながら描かれた絵や版画からは、制作している子供たちのつぶやきやささやきまで聞こえてきそうです。一人一人の子供たちが、出会ったこと、見付けたこと、感じ取ったことを、子供と一緒に温めていくことが大切なのだと、作品を見てその思いを強くしました。

長崎県教育センター 研修部 指導主事 中尾 良太

## ≫ 絵画部門(小学校) 高学年

高学年になると、自分が「これを描きたい」というテーマや思いがはっきりとしてきているように感じました。同時に、「こんなふうに表示したい」という表現方法、色や形などの造形的な要素からもその子の個性がにじみ出てくるような作品が多かったと思います。

今回から版画も絵画と同一部門になったため、ローラー等のモダンテクニックも含め、多様な作品が並びました。学校生活の一部を題材としたもの、物語から想像したもの、長崎ゆかりの風景などを子どもの視点でのびのびと思い切った構図に落とし込んだり、よくここまで、と思うほど緻密に描きこんであったりと見応えたっぷりでした。

熱中して、楽しんで描いた作品からはパワーが溢れ、それが伝わりますね。これからは作品をつくるたびに、創造する喜びを味わってほしいと思います。

長崎県美術館 事業企画グループサブリーダー 一瀬 亜希子

## ≫ 絵画部門(小学校) 高学年

小学校高学年の作品では、対象物の印象や特徴を捉えて画面いっぱいに力強く描いたものや、詳しく描写したり用具を活用したりして、より面白い画面構成になるように工夫した作品が増えるなど、発達段階に応じた表現の変化も興味深く見せていただきました。

学年が上がるにつれ、版画の表現技法がより高度になったり、透視図法などを活用した遠近感のある絵画作品があったりと、特選に選ばれた作品の中には、高い表現技術の含まれた作品が多く、見応えがありました。また、自分の世界観を色や形で自在に表現した構成のおもしろい作品も見られました。

6年生では、先生方の指導を自分なりに活用し、完成度の高い作品へと仕上げた、作者の強い意志の感じられる見事な作品ばかりで、子ども達の頑張りにとっても感心するとともに、今後の作品への期待も膨らみました。

長崎県造形教育研究会 副会長 帯田 洋義

## ≫ 絵画部門(中学校)

中学校絵画の部、特選作品に選ばれた作品は、どれもすばらしく、その作品からは、制作者の感情や個性、発想の広がりや力強さが感じられ圧倒されました。

子ども県展の審査は、授業作品であることを念頭に置き、単に技術的な側面だけでは審査を行わないとなっています。審査では、制作の過程や授業の様子を見ることができません。そこで、写真をトレースした作品であっても、生徒の皆さんは、どんな意図でその場面や構図を選び、美術の先生の指導で高めた技術から生み出した自分らしさを作品の中にどのように落とし込んだのだろうか。そのようなことを4名の審査員で議論しながら審査をさせていただきました。

今回、個性豊かな多様な作品を多く見せていただきました。今後も、自分の思いを自分らしく表現してほしいです。

長崎県造形教育研究会 会長 原口 徹弥

## ≫ 版画部門(中学校)

版画の制作では版づくりにおける素材の手ごたえ、多様な技法を用いた表現の工夫とその効果、版をいかした試行錯誤、刷り上がる瞬間の感動など、豊かで魅力的な瞬間との出会いがあります。その中で作者が技法的制限を考慮し、余分な要素を削ぎ落とし、生み出された線や形が持つリズムや調和が、版画独自の美しさへとつながります。

今回、身近な静物やふるさとの風景を、精緻かつ大胆に表現し、作者の思いを表現した作品が多く出品されており、制作過程を通して主題と向き合ったことが感じられました。これからも版画独自の表現と美しさをいかした、作者の思いがあふれる作品づくりを期待します。

長崎県教育庁 義務教育課 係長 増山 雄一郎

## ≫ デザイン部門(中学校)

今年のデザイン部門では、学年ごとに作品の傾向が異なり、バリエーション豊かな表現が見られました。特に2年生や3年生の作品には、公共ポスターやパターンデザインなどの幅広いジャンルに取り組んだ意欲が感じられました。中でも3年生の県知事賞受賞作品は、アイデアや構成において際立った完成度を誇り、大変印象的でした。

一方で、一部の作品には前年度の受賞作や指導者の影響が強く反映されている印象も受けました。それ自体が悪いわけではありませんが、生徒一人ひとりのオリジナリティをより重視した表現にも挑戦してほしいと感じます。デザインはメッセージ性や独創性が求められる分野です。自由な発想と新たな視点を大切に、中学生らしい感性を存分に発揮した作品を期待しています。

グラフィックデザイナー 志田 慎二

## ≫ 立体部門(中学校)

今回も各地域から選ばれた作品は、多彩なモチーフ・使用素材・テーマによる力作揃いで審査に大変苦労しました。どの作品からも、生徒の皆さんの作品制作に対する真摯な態度、学習指導要領をもとに限られた時間の中で授業を工夫されている先生方の奮闘を感じることができました。立体部門は、直接実在や素材に手を触れる創造活動です。デジタル化がさらに進化している今だからこそ必要な部門だと思います。生徒の皆さんには、本当に良いものや美しいものを自分の目と手と心で生み出していく美術の時間を有意義に過ごしてほしいと願っています。そのためにも指導に当たられる先生方のさらなるご活躍を期待しています。

最後に『U-20日彫展』～集まれ！未来の彫刻家～を紹介します。本県出身の彫刻家北村西望が創立に加わった日本彫刻会が「新しく瑞々しい感性を有する20歳以下の方たちを紹介するとともに、次世代へと彫刻芸術のバトンを繋ぐ」をコンセプトに企画しています。全国公募展に挑戦してみませんか。

彫刻家 馬場 正邦

## 第70回記念長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」について

### ① 事業概要

県内小・中学生を対象にした図画工作・美術の総合作品展です。今年度は県内全域より、絵画・版画・デザイン・立体の4つの部門に10万点を超える応募がありました。

その中から審査によって選ばれた優秀作品の作品展を、県内2市1町で開催します。

### ② 作品展

#### 総合展

○長崎県美術館 県民ギャラリー 令和7年1月21日(火)～1月26日(日)  
10:00～20:00

#### 巡回展(波佐見町・対馬市)

○波佐見町講堂 令和7年1月31日(金)～2月4日(火)  
10:00～16:00 ※土・日曜日…10:00～17:00

○対馬博物館 令和7年2月14日(金)～2月19日(水)  
9:30～17:00

- ※ 総合展は、特別賞(知事賞、教育委員会賞、造形教育研究会賞)及び特選の全作品計830点を展示。
- ※ 波佐見町巡回展は、特別賞全作品、立体の特選全作品、東彼杵郡の特選・入選作品(平面)260点を展示。
- ※ 対馬市巡回展は、特別賞全作品、立体の特選全作品、対馬市の特選・入選作品(平面)266点を展示。

### ③ 審査結果

校種	出品校数	完成品数	入選	特選	特別賞
小学校	303	58,945	4,279	457	18
中学校	166	43,086	3,652	331	24
合計	469	102,031	7,931	788	42

### ④ 特別賞表彰式

展示作品830点のうち、特別賞審査会で特別賞(知事賞、教育委員会賞、造形教育研究会賞)に選ばれた児童生徒42名を対象に表彰を行います。

- (1) 日時 令和7年1月26日(日) 13:30～14:30
- (2) 会場 長崎県庁ABC会議室

※ 問い合わせ先 長崎県教育庁学芸文化課 教育文化班 095-894-3385



長崎県

長崎県教育庁学芸文化課

長崎市尾上町 3-1 TEL:095-894-3385